【テーマ】2023/8/5（土）門真まつり模擬店の出店企画

Ⅰ.企画の背景・目的・コンセプト（概念）

企画の背景

コロナ禍が明けて、第11期の活動と新体制での『門真ネット』のリスタートとして
門真ネット世話人会で、『第５回ふるさと門真まつり』に模擬店を出店して、
『門真ネット会員の更なる連携強化』と『門真ネットの認知活動』を通じて
『子供たちへのメッセージ』を発信する。

企画の目的

1.子供たちへ『地元門真企業の魅力』をピーアールする。
2.門真ネット会員相互のコミュニケーションの強化
3.門真市との更なる連携強化

企画のコンセプト

門真まつり『中心となる子供たちの満足度を如何に向上させられるか』
門真ネット全企業としての英知を結集し、将来に繋がる活動にする。

Ⅱイベント内容

1.日時；2023/8/5(土)　16：00～21：00（雨天が予測された場合は、2023/8/6（日）に延期）
2.場所；門真市旧第六中学校運動広場
3.実行推進委員
●一瀬社長(リーダー）・丸山社長・鶴社長・片山社長・木村常務執行役員
4.イベント（案）
①『第５回ふるさと門真まつり』市制６０周年への参加
② 模擬店（３色カップ綿菓子）に出店
(1)インスタ映えするもの
(2)透明カップに３色の綿菓子を入れて提供する
・透明カップに『門真ものづくり企業ネットワーク』の文字とＱＲコード
印刷しＨＰにリンクさせる
・ＱＲコード読み取り確認の客には半額にて提供する
・販売価格は協賛金の集まり具合を考えて決定する
(3)広報用『うちわ』の製作：印刷内容「ガラスケ」「門真ものづくり
企業ネットワーク」「ＱＲコード」裏面に協賛企業名を印刷する。
※余ったうちわは保管しておき、その他のイベントで活用する。

Ⅲ.予算

予　算（概算）

①協賛金　1万円/１社＝35万円程度
②運営費用
(1)綿菓子生産機材レンタル費用＝　　円
(2)綿菓子の原料代　　＝　　円
(3)綿菓子用カップ及び印刷代　＝　　円
(4)『うちわ』代　　＝　　円
※うちわに対する代替案あり。

今後、確定させていく。

Ⅳ.令和５年度　ふるさと門真まつり本番までの課題、提案

【課題】

・３色カップ綿菓子の販売個数
・３色カップ綿菓子の販売個数に伴う製造能力と必要工数
※綿菓子製造機の台数・原料の量
・３色カップ綿菓子の暑さ対策（冷却等）
・広報用『うちわ』の数量とコスト試算
※5,000個程度
・運営資金：協賛金の発信と回収方法
※運営資金残金の使途（案）子供関連事業に寄付
・模擬店ブースの展示内容、配置内容
・予算の確定
・当日のスケジュールと役割分担

【提案】

・2023/7/29（土）に予行練習で速見小学校夏祭りへの参加するのか
・半被（はっぴ）の必要性：模擬店での統一感が出る。客が店員とすぐわかる
・『うちわ』は保管場所にも困るのでミニサイズのものが良いのでは？
・アルコールスプレー。衛生手袋。
・色々考えたら門真ものづくりネットワークのロゴが欲しい、、、
・2323/７/29（土）の速見小学校の夏祭りに練習出店（枠だけキープ　出店未定）
・速見出店の場合はうちわを先行配布（門真まつりの模擬店PR）
・うちわに代えて、アイ・ワークス製造の『ポケットポリ袋(印刷可)』はどうでしょうか。
※他のノベルティとかぶり難い
※門真ネット参加企業制で、ＳＤＧsに繋がる障がい者による手作りと販売